



柳幸典つなぎプロジェクト Monologue and Dialogue

「柳幸典つなぎプロジェクト」は2008年から続く「住民参画型アートプロジェクト」の一環として、2021年のつなぎ美術館開館20周年を記念し、2019年から3年かけて取り組むプロジェクトです。柳幸典は、現代社会がはらむ諸問題にユーモアを交えながらも正面から向き合う作品をつくり続けるアーティストとして、世界中で高い評価を得ています。「柳幸典つなぎプロジェクト」の2年目の成果展となる本展では、モノローグ（独白）とダイアローグ（対話）によって生み出される柳幸典ならではの地域の未来像を展示します。また、関連プログラムのトークセッションでは近年、関心が高まっている公共空間における裸像をめぐる問題を柳幸典が2人のゲストとともに論じます。

期間 9月19日(土)～11月23日(月・祝)

観覧料 一般300円、高・大学生200円、小・中学生100円
(町内の小・中学生は無料)

場所 つなぎ美術館1階展示室

関連プログラム

トークセッション「男と女とハダカとアート」

日時 11月15日(日) 14:00～15:30

ゲスト

柳 幸典 (現代美術家)

木下 直之 (美術史研究者 / 静岡県立美術館館長)

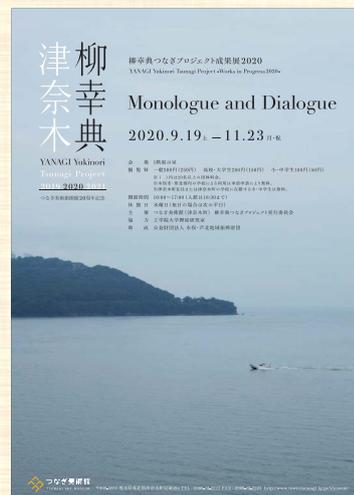
小田原 のどか (彫刻家 / 彫刻研究者)

モデレーター 楠本 智郎 (つなぎ美術館学芸員)

参加費 無料

※場所などは後日お知らせします。

※新型コロナウイルスの感染拡大で、延期・中止・動画配信になる場合があります。



宮崎静夫展 死者のために (収蔵品)

熊本出身の画家、宮崎静夫がシベリア抑留体験を元に描いたシリーズ「死者のために」。新たに収蔵した作品を交えて展示します。

期間 9月5日(土)～11月23日(月・祝)

観覧料 無料

場所 つなぎ美術館3階展示室



《冬至》

1977年 つなぎ美術館蔵

つなぎ美術館にご来館する人へ

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、次のルールを守ってください。

- ・マスクを着用し、入館前は手指を消毒してください。
- ・入館される人は調査票への記入をお願いします。
- ・館内では他の来館者から1メートル以上離れてください。
- ・混雑を避けるため入館制限を行う場合があります。
- 以下の人は入館をお断りします。
- ・新型コロナウイルス感染症の人。
- ・同症を疑われる症状がある人。
- ・同症の人や同症を疑われる症状が家族にいる人。

つなぎ美術館 〒869-5603 熊本県葦北郡津奈木町大字岩城494 ☎0966-61-2222 FAX 0966-61-2223

開館時間 10:00～17:00 (入館は16:30まで) ※モノレールは当面の間運休。

休館日 水曜日 (祝日の場合は翌日)

スマートフォンなら「マチイロ」

「広報つなぎ」をいつでもどこでも読むことができる無料アプリです。QRコードを読み取り簡単な登録を済ませてください。

※アプリのダウンロードや登録は無料、通信料は利用者負担。



QRコード

「スポーツの秋」ですが、ことしは新型コロナウイルスの感染拡大で学校の運動会も様変わりしています。中学校の体育大会は「時間短縮」や「密」を避ける工夫を凝らして開催。本来は5月に運動会を開く予定でしたが、同ウィルスの流行で2学期に延期。しかし、生徒も保護者も「できることに感謝」とホッとした様子でした。いっことは異なり制限はありませんでしたが、校庭にはあふれんばかりの笑顔が広がりました。(田)

編集後記